

平成 25 年度特別調査（ヒアリング）の実施（案）について

1. 概要

- 次回診療報酬改定（平成 26 年度）に向けて、算定ルール等の見直し、機能評価係数Ⅱの見直し等について議論を行っているが、より適切な見直しに向けて下記の通りヒアリング調査を実施することとしてはどうか。

2. 調査の背景と目的について

（1） 様式 1 「救急医療入院」の入力について

- 機能評価係数Ⅱの見直しの中で、救急医療指数の評価対象症例の選定等に使用される様式 1 の「救急医療入院」について、「あり」の入力の割合が非常に高い医療機関があるのではないかと指摘があったため、様式 1 の「救急医療入院」の適切な見直し等に向けて、ヒアリングを行う。

（2） 後発医薬品の使用割合について

- 後発医薬品の使用割合による評価指標の導入に向けて、後発医薬品の使用に関する医療機関の意識調査を行う。

（3） 入院時の持参薬のあり方について

- 入院中に用いる薬剤の多くを外来処方し患者に持参させている医療機関があるのではないかと意見があったことから、持参薬のあり方に関する検討に資するため、医療現場での実態についてヒアリングを行う。

3. 調査対象医療機関の選定について

- 全国の DPC 対象病院および準備病院を対象とする。
- 平成 24 年度の DPC データを集計し、以下に該当する医療機関に対し、調査票を配布する。
- ヒアリング対象となる医療機関については、調査票を取りまとめた結果等を踏まえて、以下の区分に応じて、数医療機関を当該分科会に招集する。

① 様式 1 「救急医療入院」の入力について

- ・ 入院患者に占める様式 1 の「救急医療入院」の割合が平均と比較し高い医療機関および低い医療機関

② 後発医薬品の使用割合について

- ・ 後発医薬品の使用割合が平均と比較し高い医療機関および低い医療機関

③ 入院時の持参薬のあり方について

- ・ 入院中の内服薬の使用割合が平均と比較し高い医療機関および低い医療機関